

# Echoes from Japan (和の響き)

## 演奏上の注意

鈴木 幸子

### 前奏

平和の響きをモチーフにして、曲がはじまります。

1 小節目 ~ 12 小節目 全パートを LV で

### A

13 小節目 ~ 20 小節目 チャイムははっきりと、ハイベルの 8 分音符は LV で軽く  
伴奏、ベースラインはリングではっきりと

21 小節目 ~ 28 小節目 リングの部分は FF、たっぷりと

21 小節目 ~ 24 小節目 8 分音符の LV は 2 小節目ずつ 2 回、波が押し寄せるように

25 小節目 ~ 28 小節目 8 分音符は 1 小節目ごとの LV で

28 小節目 MOLTO RIT で ♯、// でしっかり止める

### B (29 小節目 ~ 56 小節目が B に当たります)

29 小節目 ここから拍子が 2 / 2 になりますので、注意してください

29 小節目 ~ 32 小節目 リズム打ちは、33 小節目に音の出番がない人がマレットを 2 本持ち、持  
ち手の部分で打つ

29 小節目 ここから和太鼓が入ります

日本独特の「お祭り」をテーマにしたメロディーと、和太鼓のリズムに  
よる躍動感を存分に楽しんで

33 小節目、35 小節目 > (アクセント) をはっきり

37 小節目 ~ 44 小節目 メロディーは歌うようにはっきりと、F で

33 小節目 ~ ベースラインは大太鼓のイメージで、伴奏の和音は小太鼓をイメージし  
て、それぞれ MF で

45 小節目 ~ MP

49 小節目 ~ MF、差をはっきりと

53 小節目 ~ 56 小節目 おどけるように

P と MF の差をはっきりと、RT、 を正確に

### C

57 小節目 ~ 37 小節目からのハ長調のメロディーが、ト長調になって同じように出て  
きますので、F でのびのびと

伴奏、ベースラインは 33 小節目からと同様、大太鼓・小太鼓のイメージ  
で

69 小節目 ~ 転調なので、# を忘れないよう注意

**D**

- 73 小節目 ~ 53 小節目からと同様、おどけるように  
P と MF の差をはっきりと、RT、 、ブラックを正確に
- 79 小節目 ~ F からクレッシェンド、FF まで十分にひびかせて
- 85 小節目 ~ 86 小節目 FF で、和太鼓の響きを聞き、 //

**E**

- 87 小節目 ~ Espressivo  $\text{♩} = 72$ 、4 分の 4 拍子で  
荘厳な「富士山」をイメージして、音を紡ぐ  
8 分音符の伴奏は LV で
- 95 小節目 ~ メロディーパートの音が厚くなるので、広々とした感じで  
99 小節目 ~ たっぴりと演奏
- 103 小節目 SUB. P からクレッシェンド
- 104 小節目 FF で RIT  
3 拍目、4 拍目のテヌートアクセントは、分割して振ります  
ひとつひとついいいに

**F**

- 105 小節目 ~ 2 分の 2 拍子、 $\text{♩} = 100$   
S [ で和音を鳴らし、和太鼓の連打を聞く  
> (アクセント)をはっきり
- 109 小節目、111 小節目
- 113 小節目 ~ 120 小節目 メロディーは歌うようにはっきりと、F で  
113 小節目 ~ ベースラインは大太鼓のイメージで、伴奏の和音は小太鼓をイメージし  
て、それぞれ MF で
- 121 小節目 ~ MP
- 125 小節目 ~ MF、差をはっきりと

**G**

- 135 小節目 ~ 和太鼓を聞く
- 139 小節目 FF で SK、MOLTO RIT
- 140 小節目 「Yo!」は、関東一本じめで
- 141 小節目 S [ で

# アメリカ

## Fantasia

C. Dobrinski 作曲

指揮者：David L. Weck

- *crescendo/decrescendo* を含めて、すべての強弱記号を守って下さい
- *ritardanto*、*a tempo* では、指揮者を見ることができるよう準備して下さい
- 注：楽譜に記載されたテンポとは異なるテンポにする部分があります

1 小節	四分音符	= c.60-64
7 小節	四分音符	= c.72-76
15 小節	四分音符	= c.92
21 小節	四分音符	= c.72-76
29 小節	四分音符	= c.108-116
90 小節	四分音符	= c.108-120
112 小節	四分音符	= c.68-76
120 小節	四分音符	= c.92-100
126 小節	四分音符	= c.69
134 小節	四分音符	= c.66

以下のとおり、第四、第五、第六オクターブのチャイム / ベルを追加してもよい

小節	ベル / チャイム	音名	音符の長さ	備考
35-36	ベル	B2 / F#3	全音符	タイで結ぶ
41	ベル	B2 / F#3	八分音符	
44-46	ベル	C#3	全音符	
47-48	ベル	A2	全音符	
49-50	ベル	B 2	全音符	
51	ベル	D 3	全音符	
52	ベル	C3	二分音符	
53	ベル	E 3	二分音符	
54	ベル	G2	二分音符	
55-57	ベル	B 2	二分音符	
58	ベル	B 2 / F3	四分音符	
59-60	ベル	F2 / C3	全音符	
63-64	ベル	B 2 / F3	全音符	
65-66	ベル	A2 / E3	全音符	

72	ベル	C3	二分音符	1 拍目に追加
72	ベル	A 2 / E 3	二分音符	3 拍目に追加
73	ベル	G2 / D3	全音符	
77-93	チャイム	G3	全音符	G3 のベルは楽譜どおり鳴らす
84-85	チャイム	G3	全音符	タイで結ぶ
82-93	チャイム	G2	全音符	2 小節ずつタイで結び、1 小節おきに打ち直す
94-99	チャイム	A3	付点二分音符	A3 のベルは楽譜どおり鳴らす
94-99	チャイム	A2	付点二分音符	2 小節ずつタイで結び、1 小節おきに打ち直す
100-101	チャイム	G#3	付点二分音符	G#3 のベルは楽譜どおり鳴らす
100-101	チャイム	G#2	付点二分音符	2 小節ずつタイで結び、1 小節おきに打ち直す
102-103	チャイム	E3	付点二分音符	
104-105	チャイム	A3	付点二分音符	A3 のベルは楽譜どおり鳴らす
104-105	チャイム	A2	付点二分音符	タイで結ぶ
106-109	チャイム	D3	付点二分音符	
112	ベル	G2 / D3	全音符	
113	ベル	A2 / E3	全音符	
115-116	ベル	G2 / D3	全音符	タイで結ぶ
118	ベル	A2	二分音符	1 拍目に追加
120	チャイム	E 3	全音符	
121	チャイム	B 3	全音符	B 3 のベルは楽譜どおり鳴らす
121	チャイム	B 2	全音符	
122	チャイム	A 3	全音符	A 3 のベルは楽譜どおり鳴らす
122	チャイム	A 2	全音符	
123	チャイム	G3	全音符	G3 のベルは楽譜どおり鳴らす
123	チャイム	G2	全音符	
124	チャイム	A3	全音符	A3 のベルは楽譜どおり鳴らす
124	チャイム	A2	全音符	
125	チャイム	D3	二分音符	1 拍目に追加
126	ベル	G2 / D3	全音符	
127	ベル	A2 / E3	全音符	
129-130	ベル	G2 / D3	全音符	タイにせず、打ち直す
131	ベル	E 3 / B 3	二分音符	1 拍目に追加
134	ベル	D3	四分音符	4 拍目に追加
135	ベル	C3	二分音符	3 拍目に追加
136	ベル	D3	二分音符	3 拍目に追加
137	ベル	G2 / D3	全音符	

# オーストラリア

## 演奏上の注意: SONG OF THE FLOWER

1. **Song of the Flower** は、Orchid Sprout(蘭の芽吹き)\*、Mei Hua (梅の花)\*、Ali Mountain(阿里山)\*という3つ台湾民謡から成ります。この曲は香港の Kevin Mazimas Ko が編曲したもので、これは彼の初の出版作品です。 Kevin はこの3つの民謡について、以下のとおり解説してくれました。この曲の解釈にあたり、Kevin Ko と IHC の Debbie Rice 事務局長に感謝したいと思います。

(\*訳注：3つの民謡の( )内の邦題は、英語タイトルを訳したものであり、正式な台湾の漢字表記のタイトルではありません)

1) Orchid Sprout は春の曲です。台湾では春は一年でとても大切な季節です。台湾の新年にあたる季節であり、また「新しい命の始まり」の季節で、いずれも平和の象徴です。この曲には、楽しく心はずむ春の風景が描かれています。

2) Mei Hua は冬の曲です。冬は「悲しさ」や「厳しさ」といった感覚がありますが、この曲は人々を勇気づける曲です。この曲は人々に、厳しい日々の中で平和に暮らすことを教えます。「梅の花」は冬に咲く花で、特別な花です。冬の寒さが厳しいほど、花は力強く咲きます。梅の花は人々に、厳しい日々や困難な時にも力強く立ち向かうよう勇気づけます。

3) Ali Mountain は秋と夏の曲です。秋には山は黄色がかった薄い緑色に、夏には山全体がみずみずしい緑色になります。

この曲の中には最も人気のあるフレーズが2つあります。「少女たちは清らかな川の水のようにかわいらしい」、「少年たちは岩や山のように力強い」の2つのフレーズです。水がなければ山には十分な栄養が行きわたりません。山がなければ澄んだ水は得られません。これは男女が平和に生きるよう願う歌です。誰もがみな同じであり、人が生きていくにはお互いの存在が必要である、という意味です。

この曲の指揮をさせていただくことを大変光栄に感じますとともに、台湾ハンドベル協会の設立を歓迎いたします。

### 技術的解釈

#### 1. Orchid Sprout

正しい雰囲気を守るために、テンポを維持して下さい。テンポは四分音符=100まで上げるかもしれませんが。

小節	コメント
4:	ト音譜表の最初の8分音符と4拍目の4分音符の和音をマルテラートとします
3-4 & 23-24	A3はマレットとします
7	simile以降、念のためマレットの記号を記入しておいて下さい
13,15,17	シェイクの後の8分休符を守って下さい
21	テンポがca 100の場合、16分音符は2拍ごとにLVとします
23	クレッシェンドがありますので、フォルテより強くします(フォルテシモではない)
24	指揮者はマルテラートの和音の後、少し間をあけます。その後の小節で花びらが開いていく様子を表すイメージを作り出すためです。
24-25-26	25小節の3拍目から26小節の3拍目までLVとします。
26	4拍目の指揮は分割し、27小節への入りを揃えます
	<b>セクション B：雪景色の山全体に梅の花が力強く咲いている様子を表しています。LVでは、十分に円を描くように手を回し、舞い落ちる雪と花びらを表現して下さい。テンポは少し遅くなります。</b>

27-28	2拍目を強調しないようにしますが、3拍目の8分音符(A5とD5)へとつながっていく動きを感じて下さい。
29-30 36-39	同上。常に拍を維持して下さい。
29 - 36	メロディライン - メロディラインを心の中で歌って下さい
31	ト音譜表の3拍目はD5 & 6ではなく、C6です。
38- 46	メロディライン - 46小節の3拍目まで、ベルと一緒にチャイムも鳴らします。この部分については、最初のマスリハーサルでさらに検討します。このセクションはより張りつめた感じが必要です。
46 - 63	チャイムなし。
41	クレッシェンドを加えて、42小節に向かって曲を盛り上げますが、44小節にデクレッシェンドがありますので注意して下さい。
42	mfを加えます。
47	ここはより情熱的にします。この小節は48小節よりも力強くしなくてはなりません。
49- 51	49小節はmfで始まり、そして・・・
57	mpになります
63	molto rit.をして、64小節の突然のテンポ変化に備えます。63小節の3拍目にフェルマータを入れて下さい。
64	ト音譜表の8分音符をRTとします。
65	mp
66	66小節から69小節にかけてクレッシェンドをかけます
70	mf
71	すぐにデクレッシェンドとし、72小節のmfを際立たせます
72	アクセントがとても重要です
81	mf
83	f(フォルテ)
86 - 89	mpで始め、89小節までクレッシェンドです。
86 & 87	ト音譜表のシェイク - 87と88小節で打ち直してシェイクします
95	ト音譜表の4つめの8分音符は、F6/F7ではなく、G6/G7として下さい。
97	このシェイクはシェリーにしないでください。
98	TDLがそろうように、顔を上げて指揮を見て下さい。視覚的な効果を考え、できれば和音を右手で打って下さい。

Kevin Mazimas Ko と Debbie Rice からの情報提供に感謝いたします。

# A Night at the Opera

## 演奏上の注意

Eileen Laurence 編曲

Seong-Su Song 指揮

1. The Prophet. Aida. Carmen テンポ: 4分音符 = 100 とします
2. 5小節 4拍目の 8分音符は▼ (マルテラート) とします
3. 10、12、14小節 2拍目と4拍目の16分音符は、あわてずに、はっきりと鳴らします
4. 16小節 2拍目と4拍目の装飾音符は、はっきり聞こえるよう練習して下さい
5. 30小節 4拍目は *f* で ▼↑(マルテラートリフト)とします
6. 47から54小節 ハンドチャイムです
7. 57小節と58小節 高音部の 16分音符のリズムを正確に演奏してください
8. 61から64小節 楽譜通りに、音を間違えないようにしてください
9. 83小節 8分音符は R.T. (リングタッチ) とします
10. 85 小節 The Prophet のテンポ: 4 分音符 = 85 とします

# Echoes for Peace

## 演奏上の注意（詳細版）

1 – 26 小節: メロディを浮かびあがらせて下さい – 15 小節まで、2 拍目と 4 拍目の和音の音消しを確実に、その後 15 小節、16 小節は L.V. です。

29 小節と 32 小節: G4 より下のベルはブラック、他はマルテラート。

35 – 39 小節: L.V.

38 小節: 1 拍目の 4 分休符を 8 分休符に訂正

40 – 44 小節: ヘ音譜表の E フラットと E ナチュラルの和音 – 2 拍目のマルテラートにかけて、伸ばしておく。つまり楽譜に書かれているとおりに演奏してください。

42 小節: 1 拍目のチャイムは G4 に訂正

45 – 57 小節: 記載の通り。

58 – 59 小節: L.V.

60 小節 – 106 小節: テンポは変化します – とても自由なテンポになります - 指揮を見て下さい。

65 – 79 小節: マレットはテーブル上で静かに – メロディはその上で流れるように演奏して下さい。

84 – 90 小節: マレットは最初強く、そのあとすぐに極めて静かなマレットロールとし、90 小節に向かってさらに音量をおとしていきます。

91 – 95 小節: C# min. 7<sup>th</sup> の和音は強く。

101 小節: マレットは最初強く、そのあとすぐに静かなマレットロールとします。

101 – 105 小節: マレットロールの上に、オクターブのメロディを響かせて下さい。

105 – 106 小節: ヘ音譜表のチャイムによるメロディは、浮かび上がるように演奏して下さい。

108 – 116 小節: チャイムの三和音はとても重要です。111 小節と 115 小節ではチャイムが実質的に 3 ビート、ベルが 4 ビートになっています。低音部の静かなマレットロールは 113 小節から徐々に音量を上げていき、117 小節の最後に最も強くなります。

118 – 126 小節: Eb minor から C minor への移行部です。

126 小節: 長いフェルマータ。

127 – 146 小節 最初のメロディの再現です。1 – 26 小節と同じように演奏します。

曲全体を通して、すべての表現記号に厳格に従って演奏してください。



## Genesis (創世記) 'Let There Be Light' 「光あれ」

### 演奏上の注意

この曲は、創世記1章1節から3節を音楽で表現したものです。その言葉については楽譜の表紙の次のページに記載されています。

- 1 この曲のドラマチックなスタートとなる、1-4、5-8、9-12、13-16 小節の強弱記号に注意して下さい。
- 2 17-24 小節の強弱記号と LV 記号は、とても重要です。このパッセージは以下に続いていきます.....
- 3 25 小節のチャイムによって奏でられる「光」を表す抒情的なメロディ。ベルによるなめらかな LV の伴奏の上に、このチャイムのメロディを際立たせる必要があります。
- 4 41 小節でも、ハイベルによる穏やかな 8 分音符の伴奏の上に、チャイムのメロディを際立たせなくてはなりません。
- 5 50 小節の 8 分音符の上に LV 記号を入れて下さい。
- 6 70 小節の *rit.* に注意して下さい。これは 73 小節のおわりまで続きます。
- 7 *accelerando e crescendo* は、74 小節から 80 小節いっぱいまで、*crescendo* は 84 小節いっぱいまで続きます。
- 8 80 小節の *rit.* は 82 小節いっぱいまで続き、83 小節では大きくスローダウンします。
- 9 84 小節で長調による「光」のテーマに至ります。Tempo Primo の速度に注意して下さい。
- 10 106 小節の *rit.*、107 小節から終わりまでの *molto rit.* に注意して指揮を見て下さい。必要な場合には、指揮を分割します。

皆さんとお会いし一緒に音楽を作るのを楽しみにしています。皆さんにもこの曲の演奏を楽しんでいただければと思います。

## カナダ

# Robyn Tyrrell (カナダ)作曲 Pandemonium (詩篇 2 篇) 演奏上の注意

John Hooper、指揮者 (カナダ)

### 楽譜

音高とリズムの重要な変更は太字で記載。別紙の訂正を加えた楽譜も参照のこと。

- 1 小節 *p* ではなく *pp* に  
2 拍目の F5 にアクセント(>)を追加
- 2 小節 **2 拍目の頭に D5 を加え** (D6 に重ねる)、両方の音にアクセント(>)を追加
- 3 小節 *mp* ではなく *p* に  
2 拍目の C5 にアクセント(>)を追加
- 4 小節 **2 拍目の頭に C5 を加え** (C6 に重ねる)、両方の音にアクセント(>)を追加
- 5 小節 *mf* でなく *mp* に  
2 拍目の Bb4 にアクセント(>)を追加
- 6 小節 **2 拍目の頭に Bb4 を加え** (Bb5 に重ねる)、両方の音にアクセント(>)を追加  
3 拍目に Bb4 と Bb6 の 2 分音符を加え、直前の 8 分音符とタイで結ぶ
- 7 小節 *mf* にする  
D4 は 2 分音符でなく、4 分音符 2 つとする
- 8 小節 7 小節からのクレシェンドを継続  
**4 拍目の裏拍の G5/G6 (最後から 2 つめの 16 分音符) を削除**  
**最後の 16 分音符に E5 を追加**
- 10 小節 ト音譜表の 1 拍目を RT にする  
明らかかと思うが、2 拍目の裏拍の C#5 を前後の D5 と旋律線で結ぶ
- 11 小節 1 拍目のト音譜表 (D5 のみ) を RT にする
- 12 小節 ト音譜表 1 拍目を RT にする  
3 拍目の裏拍に D5 を追加、4 拍目の D5 を削除  
4 拍目に F5 を追加  
**3 拍目から 13 小節に向けクレシェンド**
- 13 小節 *ff* にする  
1 拍目の RT を削除、16 分休符を削除し、1 拍目の 8 分音符を付点 8 分音符に変更
- 16 小節 3 拍目に *mp*
- 18 小節 ト音譜表の 16 分音符は *p* に変更
- 19 小節 ト音譜表の 16 分音符は *pp* にする  
ト音譜表の全音符は *p* にする  
ヘ音譜表は *mp* にする

20 小節 D5 と F5 は付点 4 分音符とし、その後と同じ音で 8 分音符と 2 分音符を続ける。  
8 分音符と 2 分音符はタイで結ぶ。(22 小節と同じ形にする)

21 小節 ト音譜表の全音符は mp  
ヘ音譜表は mf

23 小節 ト音譜表の棒が下向きの音符は mf

26 小節 2 拍目の最後の 16 分音符に C#6 を追加  
4 拍目に A2 を追加、テーブル上でのマレットとする

\*\*\* 27-34 小節

ト音譜表の棒が下向きの音はすべてマレットリフト(8 分音符はスタッカート付のマレット)とする。ただし、棒が上向きの和音とタイでつながっている音は除く。27 小節 1 拍目および 30 小節 1 拍目は、A4 のみマレットリフトとする。

34 小節 1 拍目は、D5 のみマレットリフトとする。

34 小節 クレシェンドを削除し、35 小節からクレシェンドとする

35 小節 3 拍目の裏拍の D5 はナチュラル、4 拍目の 8 分音符 2 つは D#5

38 小節 1 拍目の裏拍の A5 の 16 分音符は付点 4 分音符とする(または 2 拍目の終わりまで LV とする)  
3 拍目に B5 の 2 分音符を追加

39 小節 1 拍目に C6 の 2 分音符を追加  
3 拍目に G#5 の 2 分音符を追加

40 小節 最初の A5 の 16 分音符を付点 4 分音符とし、これに 8 分音符(2 拍目の裏拍)を続ける  
3 拍目に B5 の付点 4 分音符を加える  
最後の B5 は 16 分音符ではなく 8 分音符とする

50 小節 1 拍目の B6 を削除

56-63 小節 ベルのみを演奏するクワイヤとチャイムのみを演奏するクワイヤに分け、  
チャイムのメロディラインに 1 オクターブ下を重ねてもよい。

64 小節 E5 は付点 4 分音符ではなく、8 分音符 3 つに分けて打ち直す  
追加した 3 拍目の 8 分音符に G5 を追加  
ヘ音譜表の最後の 8 分音符は C5 ではなく B4 に変更

65 小節 E5 は楽譜記載のリズムではなく 8 分音符 6 つに分けて打ち直す  
最後の 8 分音符に G5 を追加

66 小節 E5 は付点 4 分音符ではなく 8 分音符 3 つに分けて打ち直す  
3 つめの 8 分音符に G5 を追加

67 小節 1 拍目に 8 分音符で D#5 を追加、D#5 と F#5 は楽譜記載のリズムではなく  
8 分音符 3 つに分けて打ち直す  
4 拍目の E5 は付点 4 分音符ではなく 8 分音符 3 つに分けて打ち直す  
6 拍目の 8 分音符に G5 を追加

68 小節 1 拍目の E5 は付点 4 分音符ではなく 8 分音符 3 つに分けて打ち直す  
3 拍目の 8 分音符に G5 を追加

- 69 小節 E5 は付点 4 分音符ではなく 8 分音符 3 つに分けて打ち直す  
3 拍目の 8 分音符に G5 を追加  
4 拍目の D#5 は、4 分音符ではなく 8 分音符 2 つに分けて打ち直す
- 70 小節 4 拍目の D#5 は、4 分音符ではなく 8 分音符 2 つに分けて打ち直す
- 71 小節 E5 は 8 分音符 3 つと付点 4 分音符に分けて打ち直す
- 72 小節 最後から 2 番目の 16 分音符に E6 を追加
- 72-79 小節 できればへ音譜表の一番下の旋律に同音域または 1 オクターブ下のチャイムを重ねる
- 76 小節 **1 拍目の E5 のチャイム (付点 4 分音符) を B5 に変更**  
最後から 2 番目の 16 分音符に E6 を追加
- 77 小節 **1 拍目の C7 を B6 に変更**  
**1 拍目裏拍の 16 分音符の E6 を削除し、G6 に変更する**
- 78 小節 **3 拍目の 8 分音符の B4 を削除**  
**4 拍目にあるへ音譜表の LV を削除**
- 80 小節 4 拍目に付点 4 分音符で E3 と B3 を追加
- 81 小節 4 拍目に付点 4 分音符で D3 と A3 を追加
- 82 小節 4 拍目に付点 4 分音符で D#3 と A3 を追加  
**4 拍目の D5 は D#5 に変更**
- 83 小節 4 拍目に付点 4 分音符で D#3 を追加  
**5 拍目裏拍の 16 分音符に B5 を追加**  
明らかだと思うが、最後の 16 分音符は 8 分音符に変更
- 85 小節 クレシェンドは小節の終わりまで続く
- 88 小節 **G6 と B6 は付点 4 分音符でなく 8 分音符とする**  
**E4 は付点 8 分音符とする (89 小節の B3 と同じ)**
- 89 小節 小節後半、4 - 6 拍目の B4 は、付点 8 分音符 ・ 8 分音符 ・ 16 分音符となる。

## 全般

- 1-8 小節- 自分のリズムを確認すること。アクセントがとても大切!
- 27-33 小節- へ音譜表の旋律は軽やかに素早くする必要があります。マルテラートを軽くすること。
- 35, 37, 43-46 小節- 変化音 (臨時記号) を確認すること。必要に応じてウィーピングテクニックを用いる。  
(前後の列のリンガーと相談して互いにどのベルをカバーするか分担しても可)
- 80-89 小節 自分のリズムを確認すること。  
8 分音符だったり、付点 8 分音符だったりします (89 小節の B3 など)。見た目より易しいです。

カナダの若手作曲家のこの素晴らしい作品の練習をして下さり、感謝します。皆さんと音楽を作ることを楽しみにしています。